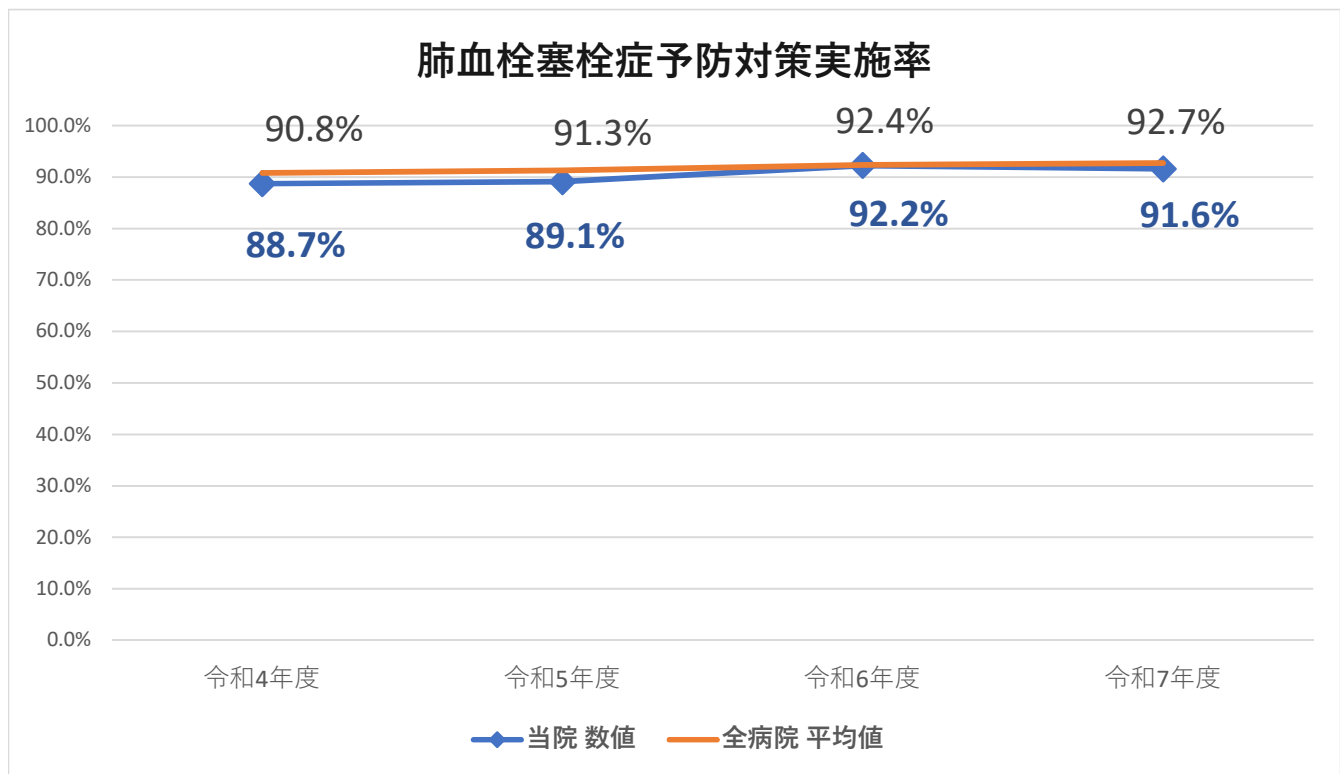


□肺血栓塞栓症予防対策実施率



	令和4年度 R4.4～R5.3	令和5年度 R5.4～R6.3	令和6年度 R6.4～R7.3	令和7年度 R7.4～R7.9	令和8年度
当院	88.7%	89.1%	92.2%	91.6%	
全病院平均値	90.8%	91.3%	92.4%	92.7%	
全病院登録数	148	150	156	140	

【解説】肺血栓塞栓症とは、心臓から肺に血液を送る肺動脈に血栓がつまり酸素を取り込めなくなったり、心臓から血液を押し出せなくなり突然死の要因になる病気です。主に血液の流れが停滞すると起こりやすく、大きな手術の後や重症な病気で寝ている時間が長くなると発症リスクが高くなります。

そのため発症リスクの高い患者には予防対策を行うことが推奨されています。

当院でも90%以上の方に予防対策を実施しています。

【計算方法】

肺血栓塞栓症予防対策が実施された退院患者数／肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術の退院患者数 × 100%